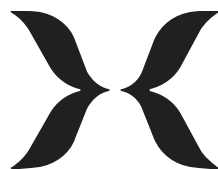


2021（令和3）年度  
在学生実態調査アンケート結果



比治山大学  
比治山大学短期大学部

高等教育研究開発センター

2022（令和4）年3月

## 調査の概要

1. 目的 本学在学学生に対し、現在の学生生活の実態や在学しての成長実感、本学への評価を伺うことで、本学の強み・弱みや本学在学学生の特性・特徴を把握し、今後の学校運営施策の一助とする。  
また、昨年実施の在学学生調査や入学者・卒業予定者調査等と比較することで学びの成果を検証するために、学生の学習行動や学部ごとに定められているディプロマ・ポリシーの達成度を把握する。
2. 対象 令和3(2021)年度 在学学生
3. 調査方法 インターネット調査
4. 調査期間 2021(令和3)年4月14日～4月28日、9月27日～10月17日
5. 回収状況

	対象者*	回答者数	回収率
■大学	1153名	863名	74.85%
2年次	380名	286名	75.26%
3年次	383名	318名	83.03%
4年次	390名	259名	66.41%
現代文化学部 言語文化学科	402名	261名	64.93%
2年次	137名	90名	65.69%
3年次	136名	106名	77.94%
4年次	129名	65名	50.39%
現代文化学部 マスコミュニケーション学科	169名	146名	86.39%
2年次	61名	56名	91.80%
3年次	54名	49名	90.74%
4年次	54名	41名	75.93%
現代文化学部 社会臨床心理学科	234名	167名	71.37%
2年次	80名	47名	58.75%
3年次	71名	57名	80.28%
4年次	83名	63名	75.90%
現代文化学部 子ども発達教育学科	215名	191名	88.84%
2年次	66名	63名	95.45%
3年次	77名	72名	93.51%
4年次	72名	56名	77.78%
健康栄養学部 管理栄養学科	133名	98名	73.68%
2年次	36名	30名	83.33%
3年次	45名	34名	75.56%

	4年次	52名	34名	65.38%
■	短期大学部	240名	214名	89.17%
	短期大学部 幼児教育科	97名	95名	97.94%
	短期大学部 総合生活デザイン学科	73名	70名	95.89%
	短期大学部 美術科	70名	49名	70.00%
	総計	1393名	1077名	77.32%

6. 実施 高等教育研究開発センター 評価・IR部門
7. 集計 大学・短期大学部・大学院・短期大学部専攻科に分けて表記した。  
所属・自由記述等の項目は除く。経年で調査する項目を掲載する。

## 教育課程の編成及び実施に関する方針(カリキュラム・ポリシー)

### 【言語文化学科(日本語文化コース)】

#### 2018年度生

- 1 日本語文化コースのディプロマ・ポリシーに基づき、1年次に設置された言語共通科目、および1年次の導入的な入門科目などの選択的履修により、コース選択後の2年次以降の専門教育科目の学びをさらに深めるカリキュラムを編成します。
- 2 「4×3の比治山力(汎用的能力)」を育成しつつ、「日本語学・日本文学・日本文化」「表現・創作」を中心とした、体系的・実践的なカリキュラムを編成します。
- 3 個性を伸ばすとともに確かな学力を獲得させるべく、実践的な日本語運用能力を高めるカリキュラムを編成します。

#### 2019、2020年度生

- 1 共通教育科目では自立と想像、コース専門科目では自己理解、他者への想像及び豊かなコミュニケーション、さらに表現・創作の能力を高めることを目標とした科目を構成しています。
- 2 専門基礎、特別研究では言語文化及び日本語文化に関する論理的実践的理解を深め、「日本語・日本文学・日本文化」「表現・創作」の専門的知識と技能を身に付けることを目標とした科目を構成しています。
- 3 「日本語・日本文学・日本文化」「表現・創作」の専門性を活かして地域社会及び教育界の要望に応え、課題解決に向き合う力量と態度を形成する科目を構成しています。

### 【言語文化学科(国際コミュニケーションコース)】

#### 2018年度生

- 1 国際コミュニケーションコースのディプロマ・ポリシーに基づき、1年次に設置された言語共通科目、および1年次の導入的な入門科目や留学等の集中講義科目などの選択的履修により、コース選択後の2年次以降の専門教育科目の学びをさらに深めるカリキュラムを編成します。
- 2 国際社会、地域社会で生き抜く力を育成すべく、「国際コミュニケーションスキル」「国際言語

文化」を中心とした、体系的・実践的なカリキュラムを編成します。

- 3 学習者の個性を伸ばすとともに、学習者自らが主体的かつ能動的に学ぶ力を獲得させるべく、実践的な英語運用能力を高めるカリキュラムを編成します。

2019、2020年度生

- 1 共通教育科目では主として共生、専門領域科目及び国際言語文化科目では想像の能力を汎用的に高めることを目標とした科目を構成しています。
- 2 基礎科目、専門科目、特別研究では、共通教育で培った「共生」の能力を一層深めつつ、国際的なコミュニケーション力や英語の専門的知識と技能、実践的な英語運用能力を高める科目を構成しています。
- 3 国際言語文化科目では主として想像、表現力やプレゼンテーション能力を伸ばすとともに、地域社会や教育界の要望に応え課題解決に向き合う力と態度を培う科目を構成しています。

#### 【マスコミュニケーション学科】

2018年度生

- 1 専門教育カリキュラムとして、「基礎」「専門」「発展応用」の3つの段階の科目区分を設けています。
- 2 「基礎」「専門」の区分では、メディア・観光分野に関する基礎知識を学ぶ科目と、取材、調査、映像編集、広告制作、マーケティング企画、インターネット発信などの実習・フィールドワークを通して表現力・企画力・発信力などを身に付ける科目を中心にカリキュラムを編成します。
- 3 「発展応用」の区分では、「基礎」「専門」で身に付けた知識やスキルを、地域社会や観光の現場で活躍することができる力へ発展させるために、グループワーク、インターシップなどのより実践的な科目を中心にカリキュラムを編成します。

2019、2020年度生

- 1 共通教育科目では主として共生、基礎科目ではメディア・観光分野の基礎知識を身に付け、社会で活躍するためのコミュニケーション能力を高めることを目標とした科目を構成しています。
- 2 専門科目・研究科目ではメディアまたは観光分野の専門知識・技能を身に付け、高いレベルの表現力・企画力・発信力で社会に寄与できうる人材を育てることを目標とした科目を構成しています。
- 3 発展応用科目ではワークショップ・インターンシップなどを中心に、基礎科目・専門科目で身に付けたメディア・観光分野の知識・技能を基に地域社会の課題やニーズに対応し、社会に貢献しようとする態度を培う科目を構成しています。

#### 【社会臨床心理学科】

- 1 共通教育科目では主として共生、専門領域科目では自己理解および他者理解、実践的科目では支援・援助の能力を高めることを目標とした科目を構成しています。

- 2 基礎科目、特別研究では心に関する科学的理解を深め、心理実験・調査と、その報告書作成についての専門的知識と技能を身につけることを目標とした科目を構成しています。
- 3 発展科目では心理学の専門性を活かして地域社会の要望に応え、課題解決に向き合う力量と態度を高める科目を構成しています。

#### 【子ども発達教育学科】

2018年度生

- 1 本学科の目標達成のために必要な基礎的学力を高め、かつ効果的な学習方法を習得し、さらに多角的視点から問題を探求する態度や意欲を育成するために、「比治山ベーシック科目」と「教養科目」からなるカリキュラムを編成します。
- 2 子どもたちの成長・学びを、深い愛情をもって支援する人材となることをめざした組織的・体系的・実践的な専門教育カリキュラムを編成します。
- 3 専門教育カリキュラムを構成する科目は、「基本科目」「教育学・心理学系科目」「幼児教育・保育系科目」「教科内容系科目」「教育方法系科目」「教育・保育実践系科目」、および「専門関連科目」の7領域に分けて編成します。
- 4 学生がめざす進路に応じて専門的学修と実習を重ねることができ、関連免許・資格の修得とともに、卒業研究を深め卒業論文が完成できるようにカリキュラムを編成します。

2019、2020年度生

- 1 共通教育科目では主として共生、基本科目、教育学・心理学系科目では主として子どもの発達や教育・保育に関する基礎的能力を高めることを目標とした科目を構成しています。
- 2 専門科目としての教育学・心理学系科目、保育・幼児教育系科目、教科教育系科目を通し、子どもの発達に関する専門的知識・技能を身に付けることを目標とした科目を構成しています。
- 3 実習系科目、特別研究では、学生がめざす進路に応じた専門的学修と実習を重ね、地域社会及び教育界の要望に応える実践的な力量と態度を培う科目を構成しています。

#### 【管理栄養学科】

2018年度生

- 1 豊かな人間力と多面的なものの見方、幅広い識見を培うための比治山ベーシック科目並びに教養科目を編成する。
- 2 基礎的な知識・技能・態度を修得するための導入分野および専門基礎分野を編成する。
- 3 高度な栄養マネジメント能力を養うために、専門的な知識・技能・態度を修得のための専門分野を編成する。
- 4 専門的な知識・技能を踏まえ、社会のニーズに対応した能力を養うための専門発展分野を編成する。

2019、2020年度生

- 1 豊かなコミュニケーション力と多面的なものの見方、幅広い識見を培うための全学共通科目と学科基礎科目を構成しています。

- 2 専門の基盤となる知識・技能を修得する導入分野及び栄養に関する専門基礎分野科目、さらに高いレベルの知識・技能の習得と高度な栄養マネジメント能力を高める科目を構成しています。
- 3 専門発展分野では栄養学に関する専門的な知識・技能をもとに、栄養や食を中心とした社会の課題やニーズに対応できる能力と態度を養うための科目を構成しています。

#### 【幼児教育科】

- 1 多様な視点から、子どもや保育の問題に対応できる汎用的能力を高めるために全学共通及び学科の教養・基盤教育に基づいたカリキュラムを編成しています。
- 2 保育に関する基礎的及び専門的な知識と技能を身につけるため「本質・目的の理解」、「対象の理解」、「内容・方法の理解」、実習や卒業研究を含む「保育の実践と研究」からなるカリキュラムを編成しています。
- 3 生活に即した保育を構想するなかで専門性と実践力を深め、保育者として社会に貢献しようとする意欲と態度を身に付けるため自らの学びの目標とその達成評価ができるカリキュラムを編成しています。

#### 【総合生活デザイン学科】

- 1 自己肯定感に支えられた高い傾聴・受信力を持ち、豊かな人間性と多面的な見識を養うために、全学共通科目と教養科目を基盤として、生活を総合的にデザインする共通専門教育を展開するカリキュラムを編成しています。
- 2 社会で活躍できる職業人として必要な専門的知識・技能を身に付けるため専門教育科目では5系列を設定し、それぞれの系列に応じた実務教育を主軸にしたカリキュラムを編成しています。
- 3 さまざまな検定や資格の取得を通して職業人としての力量を高め、絶えず向上していくキャリア意識を深化させるなかで社会に貢献できる態度と意欲を培うカリキュラムを編成しています。

#### 【美術科】

- 1 表現者・職業人として自らの人生をデザインし、豊かな人間性と多角的視点から問題を探求する力及び幅広い見識を養うために、共通教育科目と美術科の基礎演習科目を中心としたカリキュラムを編成しています。
- 2 美術に関する基礎的な知識の理解や技法を習得するための理論系科目、CG系科目及び表現者・職業人として必要な力量を高め、実践的な応用力を養うためのコース専門科目からなるカリキュラムを編成しています。
- 3 美術における確かな表現力で作品を発表し、自らの力量を高めるとともに地域社会や教育界に貢献できる意欲と態度を培うカリキュラムを編成しています。

Q6. あなたの現在の1週間(7日間)の生活時間について、(1)～(6)の項目ごとに該当する時間をお答えください。(各項目1つ選択)

		0時間 (%)	1～5時 間 (%)	6～10時 間 (%)	11～15 時間 (%)	16～20 時間 (%)	21～25 時間 (%)	26～30 時間 (%)	31時間 以上 (%)
大学の授業(対面・遠隔を含む)	大学	0.7	29.1	22.6	20.4	16.8	6.1	2.4	2.0
	短期大学部	0.5	28.0	24.2	22.2	15.0	5.8	1.9	2.4
大学の授業(対面・遠隔を含む)の予習・復習など	大学	9.7	69.1	16.5	3.1	0.8	0.5	0.1	0.0
	短期大学部	20.7	67.3	8.7	1.4	1.0	0.5	0.5	0.0
大学の授業(対面・遠隔を含む)以外の学習	大学	29.5	56.8	9.5	2.3	1.1	0.3	0.4	0.1
	短期大学部	52.9	40.4	2.9	1.9	0.0	1.0	1.0	0.0
部活動・サークル活動	大学	75.4	17.1	5.4	0.7	0.9	0.3	0.0	0.1
	短期大学部	87.5	9.6	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アルバイト	大学	19.5	15.3	22.6	20.4	12.6	6.2	2.4	1.1
	短期大学部	28.4	14.9	16.3	18.8	10.6	5.8	2.9	2.4
娯楽・交友	大学	6.5	42.4	27.5	11.0	4.5	3.3	1.9	2.9
	短期大学部	5.3	34.8	26.6	16.4	5.8	2.4	4.3	4.3

Q7. 次の項目それぞれについて、あなたが大学生活で取り組んだこととしてあてはまるものをお選びください。  
(各項目1つ選択)

		あてはまる (%)	ややあ てはまる (%)	どちらと もいえな い (%)	あまりあ てはまら ない (%)	あてはま らない (%)
教養を身につける	大学	53.9	37.3	6.8	1.6	0.4
	短期大学部	55.6	36.7	5.3	1.0	1.4
専門的知識を学ぶ	大学	59.5	31.5	6.4	2.3	0.3
	短期大学部	65.9	29.8	3.8	0.5	0.0
免許や資格を取る	大学	40.9	27.9	16.9	6.9	7.3
	短期大学部	56.3	28.6	10.2	1.9	2.9
学生生活を楽しむ	大学	45.9	36.1	11.4	4.6	2.0
	短期大学部	49.5	35.1	10.6	4.3	0.5
アルバイトをする	大学	43.4	31.7	12.9	5.9	6.1
	短期大学部	45.2	22.6	10.6	7.2	14.4
留学する	大学	7.7	8.3	8.8	21.3	53.9
	短期大学部	3.9	2.9	7.2	13.5	72.5
クラブや課外活動をする	大学	17.8	19.7	11.9	19.3	31.3
	短期大学部	9.2	6.8	8.3	16.0	59.7
大学院に進学する	大学	5.3	5.0	9.0	20.4	60.2
	短期大学部	2.4	3.9	4.3	15.5	73.9
就職に向けた準備をする	大学	33.9	37.7	16.6	6.8	5.0
	短期大学部	41.8	32.2	19.2	4.8	1.9



Q8. 本学での授業に対して、あなたはどのように取り組んでいますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)  
 ※状況や場合によって異なると思いますが、一般的にこの程度という感覚でお答えください。

		あてはまる (%)	ある程度あてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)
グループワークやディスカッションに積極的に参加している	大学	24.0	45.8	22.5	6.1	1.6
	短期大学部	18.9	38.8	31.1	9.7	1.5
必要な予習や復習はした上で授業にのぞんでいる	大学	16.1	49.7	25.3	7.3	1.5
	短期大学部	16.3	36.1	26.9	16.3	4.3
先生に質問したり、勉強の仕方を相談したりしている	大学	14.5	37.2	32.1	11.9	4.3
	短期大学部	18.1	30.9	28.4	15.2	7.4
課されたレポートや課題を少しでも良いものに仕上げようと努力する	大学	38.5	46.3	12.6	2.2	0.4
	短期大学部	38.8	39.8	18.0	1.9	1.5
レポートや課題は満足がいくように仕上げる	大学	31.9	49.6	15.9	2.0	0.5
	短期大学部	35.7	42.5	18.8	1.9	1.0
授業には意欲的に参加する	大学	41.6	43.0	13.1	1.8	0.5
	短期大学部	45.4	38.6	14.5	1.0	0.5
プレゼンテーションの際、何を質問されても大丈夫なように十分に調べる	大学	14.0	45.2	29.7	9.1	1.9
	短期大学部	13.0	31.9	31.4	20.3	3.4
授業はただぼうっと聞いている	大学	7.3	15.9	28.5	33.9	14.5
	短期大学部	8.7	15.0	29.6	30.1	16.5
自分では積極的に学習していると思う	大学	18.7	45.6	27.2	6.8	1.8
	短期大学部	21.2	41.8	28.8	7.2	1.0
勉強は好きである	大学	9.9	25.6	37.2	18.7	8.7
	短期大学部	8.7	18.8	35.7	21.7	15.0

Q9. 本学の授業とあなたとの関連についてどう思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。  
(各項目1つ選択)

		よくあてはまる (%)	ある程度あてはまる (%)	あまりあてはまらない (%)	全くあてはまらない (%)
卒業後にやりたいことは決まっている	大学	27.2	40.9	24.0	8.0
	短期大学部	30.3	40.4	24.5	4.8
大学での授業はやりたいことに密接に関わっている	大学	24.9	45.2	23.5	6.4
	短期大学部	34.5	48.5	14.6	2.4
授業を通じてやりたいことを見つけたい	大学	31.9	47.7	15.6	4.8
	短期大学部	36.4	42.7	17.5	3.4

Q10. 本学について、あなたは次の点でどのくらい満足していますか。(各項目1つ選択)

		満足 (%)	やや満 足 (%)	やや不 満 (%)	不満 (%)
授業全般	大学	18.4	64.2	15.1	2.3
	短期大学部	27.4	62.5	9.6	0.5
授業外での教員との関わり	大学	22.3	63.2	12.2	2.3
	短期大学部	32.0	60.2	5.8	1.9
図書館などの学習施設	大学	25.4	57.6	14.6	2.4
	短期大学部	27.7	60.2	10.2	1.9
パソコンなどの情報環境、サポート	大学	21.7	49.9	21.3	7.1
	短期大学部	31.4	49.3	16.4	2.9
就職指導・サポート	大学	19.3	61.7	14.8	4.2
	短期大学部	30.4	58.0	9.7	1.9
学習・その他のサポート	大学	17.6	61.8	17.4	3.3
	短期大学部	26.0	62.5	10.6	1.0
大学生生活全般	大学	18.5	60.6	16.4	4.5
	短期大学部	27.1	59.9	10.6	2.4

Q11. 次の点で本学の授業は、どのくらい役立っていると思いますか。また自分の実力はどの程度あると思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		授業の役立ち度				自身の実力の自己評価			
		役立っている (%)	ある程度役立っている (%)	あまり役立っていない (%)	役立っていない (%)	十分実力はある (%)	ある程度実力はある (%)	あまり実力はない (%)	実力は不十分 (%)
将来の職業に関連する知識や技能	大学	36.5	53.9	7.6	2.0	12.7	50.4	31.7	5.2
	短期大学部	52.6	42.1	3.9	1.3	19.7	61.2	17.1	2.0
専門分野の知識・理解	大学	46.5	47.2	5.2	1.1	12.9	54.4	28.2	4.6
	短期大学部	52.0	42.8	4.6	0.7	19.7	59.9	19.1	1.3
論理的に文章を書く力	大学	30.6	56.8	10.9	1.7	11.4	47.4	33.6	7.6
	短期大学部	31.6	51.3	16.4	0.7	15.8	43.4	34.2	6.6
外国語活用の力	大学	16.8	46.1	29.9	7.2	9.4	28.6	40.8	21.2
	短期大学部	20.4	35.5	34.2	9.9	11.8	25.0	44.1	19.1
ものごとを分析的・批判的に考える力	大学	32.8	56.3	9.4	1.5	17.5	57.4	22.5	2.6
	短期大学部	35.5	53.3	9.9	1.3	20.4	57.2	21.1	1.3
幅広い知識、ものの見方	大学	41.9	50.9	5.9	1.3	21.0	58.3	17.7	3.1
	短期大学部	48.7	47.4	3.3	0.7	27.0	59.2	13.2	0.7
主体となって調査・研究・発表を行う能力	大学	34.3	52.4	11.8	1.5	14.6	49.8	30.8	4.8
	短期大学部	42.1	50.0	7.2	0.7	25.7	50.7	21.7	2.0

Q15. 以下について、自分にどの程度あてはまると思いますか。(各項目1つ選択)

		あてはまらない (%)	ややあてはまらない (%)	どちらともいえない (%)	ややあてはまる (%)	あてはまる (%)
始めたことは何であれやり遂げる	大学	8.6	20.8	22.2	35.6	12.8
	短期大学部	12.1	16.9	22.7	36.7	11.6
頑張りやである	大学	10.2	21.8	26.3	30.1	11.7
	短期大学部	12.6	17.5	28.2	31.6	10.2
終わるまで何カ月もかかる計画にずっと興味を持ち続けるのは難しい	大学	7.9	26.1	34.6	23.6	7.8
	短期大学部	10.6	21.3	35.3	27.5	5.3
私は困難にめげない	大学	8.4	23.3	36.6	24.2	7.5
	短期大学部	8.3	22.3	40.8	23.8	4.9
物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう	大学	9.8	27.0	28.4	27.2	7.6
	短期大学部	13.0	21.7	27.1	31.9	6.3
いったん目標を決めてから、後になって別の目標に変えることがよくある	大学	7.4	26.6	32.4	27.0	6.7
	短期大学部	9.2	23.2	35.3	26.6	5.8
勤勉である	大学	11.2	25.6	42.9	16.8	3.5
	短期大学部	11.1	27.5	36.2	18.8	6.3
新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	大学	7.1	26.6	36.6	23.2	6.5
	短期大学部	7.3	26.2	37.9	22.8	5.8

Q16. あなたは自分自身をどう思っていますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		そうだ (%)	まあそう だ (%)	あまりそ うではな い (%)	そうでは ない (%)
私は価値のある人間だと思 う	大学	13.5	40.6	35.5	10.5
	短期大学部	9.7	43.7	37.9	8.7
私は人とうまく協力できる ほうだと思	大学	21.8	52.8	20.0	5.4
	短期大学部	19.5	58.5	17.6	4.4
私はいまの自分に満足し ている	大学	10.6	40.4	30.6	18.4
	短期大学部	11.3	42.2	34.3	12.3
私は努力すれば大体の ことができると思	大学	14.2	51.3	26.3	8.2
	短期大学部	18.4	47.6	26.7	7.3
私は辛いことがあっても 乗り越えられると思	大学	18.2	55.2	19.5	7.1
	短期大学部	19.9	49.0	27.7	3.4
私は怒った時や興奮して いる時でも自分をコント ロールできるほうだ	大学	21.9	49.8	22.0	6.3
	短期大学部	25.2	49.0	20.4	5.3

Q17. あなたは以下の項目について、現在どれくらいできると思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※項目の中の「チーム」という言葉は、共同研究・共同発表や授業中のグループワーク、クラブ・サークル活動や行事参加などで、同じ目標達成や課題解決を目指す集団を指します。

		非常に できる (%)	ややで きる (%)	どちらと もいえ ない (%)	あまりで きない (%)	全然で きない (%)
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	大学	26.6	55.5	14.2	3.7	0.0
	短期大学部	35.5	52.6	10.5	0.7	0.7
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	大学	17.0	55.5	21.6	5.9	0.0
	短期大学部	24.3	52.0	17.8	5.3	0.7
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	大学	26.4	51.7	17.9	3.7	0.2
	短期大学部	32.9	52.6	11.2	3.3	0.0
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	大学	21.4	52.6	19.7	6.3	0.0
	短期大学部	26.3	51.3	17.8	4.6	0.0
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	大学	19.2	47.8	24.2	8.3	0.4
	短期大学部	28.3	47.4	19.1	4.6	0.7
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	大学	46.1	43.2	8.3	2.2	0.2
	短期大学部	50.0	42.8	5.9	1.3	0.0
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	大学	33.8	48.7	12.9	3.9	0.7
	短期大学部	37.5	52.0	8.6	1.3	0.7
チームに貢献できるような行動をとることができる	大学	27.9	51.1	16.6	3.9	0.4
	短期大学部	38.8	46.7	12.5	1.3	0.7
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	大学	30.3	51.3	14.6	3.5	0.2
	短期大学部	36.2	50.7	11.2	1.3	0.7
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	大学	21.6	48.7	22.1	6.8	0.9
	短期大学部	26.3	49.3	19.7	3.9	0.7
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	大学	14.8	40.4	31.4	11.6	1.7
	短期大学部	21.1	40.1	29.6	7.9	1.3
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	大学	16.4	46.9	28.6	7.4	0.7
	短期大学部	21.7	50.0	23.0	4.6	0.7

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部  
言語文化学科 日本語文化コース 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
他者への想像力を働かせるとともに、自己の思考・判断のプロセスや結果を論理的に説明できる高い理解力・表現力及び豊かなコミュニケーション能力を身に付けている	10.0	55.0	35.0	0.0	0.0
日本語学・日本文学・日本文化及びそれらの表現・創作に関する専門知識と技能を身に付けている	10.0	50.0	30.0	10.0	0.0
地域社会、教育界をはじめ現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢を持っている	10.0	40.0	40.0	10.0	0.0
地域社会、教育界をはじめ現代日本における諸課題について、豊かな発想力をもって解決策を見出す力と態度を身に付けている	10.0	30.0	50.0	5.0	5.0

現代文化学部  
言語文化学科 日本語文化コース 3年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
他者への想像力を働かせるとともに、自己の思考・判断のプロセスや結果を論理的に説明できる高い理解力・表現力及び豊かなコミュニケーション能力を身に付けている	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
日本語学・日本文学・日本文化及びそれらの表現・創作に関する専門知識と技能を身に付けている	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0
地域社会、教育界をはじめ現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢を持っている	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0
地域社会、教育界をはじめ現代日本における諸課題について、豊かな発想力をもって解決策を見出す力と態度を身に付けている	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0

現代文化学部  
言語文化学科 日本語文化コース 4年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得している	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得している	16.7	72.2	5.6	5.6	0.0
地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢を持っている	22.2	55.6	22.2	0.0	0.0
地域社会や現代日本における諸課題について、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を修得している	11.1	66.7	22.2	0.0	0.0



Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部  
言語文化学科 国際コミュニケーションコース 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
国際社会、地域社会に貢献できる高いレベルの思考力・判断力と自己及び他者が協働できる力を身に付けている	25.0	20.0	35.0	10.0	10.0
発信型の英語力を基に、国際社会、地域社会に貢献できる専門的な知識・技能を身に付けている	15.0	30.0	30.0	15.0	10.0
異文化に関する実践的な素養と実践力をもとに、国際社会、地域社会、教育界へ高い関心を有して活躍できる力と態度を身に付けている	30.0	25.0	30.0	10.0	5.0

現代文化学部  
言語文化学科 国際コミュニケーションコース 3年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
国際社会、地域社会に貢献できる高いレベルの思考力・判断力と自己及び他者が協働できる力を身に付けている	16.0	40.0	24.0	20.0	0.0
発信型の英語力を基に、国際社会、地域社会に貢献できる専門的な知識・技能を身に付けている	8.0	36.0	32.0	20.0	4.0
異文化に関する実践的な素養と実践力をもとに、国際社会、地域社会、教育界へ高い関心を有して活躍できる力と態度を身に付けている	20.0	32.0	36.0	8.0	4.0

現代文化学部  
言語文化学科 国際コミュニケーションコース 4年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)
異文化に関する知識を体系的に理解する学修を通じて、国際社会、地域社会への興味・関心を養っている	35.3	47.1	11.8	5.9	0.0
異文化に関する知識を体系的に理解する学修を通じて、国際社会、地域社会で活躍できる力を修得している	17.6	47.1	29.4	5.9	0.0
発信型の英語力を基に、国際社会、地域社会に貢献できる専門的な知識・技能を身に付けている	5.9	41.2	41.2	11.8	0.0
国際社会、地域社会に貢献できる力を養う科目の体系的な学修を通じて、思考力・判断力を養っている	29.4	52.9	11.8	5.9	0.0
国際社会、地域社会に貢献できる力を養う科目の体系的な学修を通じて、他者と協働できる力を修得している	23.5	47.1	23.5	5.9	0.0

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部  
マスコミュニケーション学科 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
「話す・聴く・読む・書く」力及び「チームで取り組む」 力に支えられた高いレベルのコミュニケーション能 力を身に付けている	11.1	42.2	40.0	4.4	2.2
テレビ・新聞などの在来メディアとインターネットなど の新しいメディア双方に関する専門的知識・技能を 持っている	17.8	53.3	24.4	2.2	2.2
ビジネスの現場、地域社会において、「取材・調査・ 企画・制作・情報発信」などの対応ができる知識・ 技能を身に付けている	11.1	33.3	48.9	4.4	2.2
地域が有する多様な魅力を発見することができる	15.6	42.2	37.8	2.2	2.2
地域が有する多様な魅力を、地域を活性化させる 情報や観光プランへと発展させるための力と態度を 身に付けている	15.6	33.3	46.7	2.2	2.2

現代文化学部  
マスコミュニケーション学科 3年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
「話す・聴く・読む・書く」力及び「チームで取り組む」 力に支えられた高いレベルのコミュニケーション能 力を身に付けている	12.5	60.0	20.0	7.5	0.0
テレビ・新聞などの在来メディアとインターネットなど の新しいメディア双方に関する専門的知識・技能を 持っている	12.5	42.5	37.5	2.5	5.0
ビジネスの現場、地域社会において、「取材・調査・ 企画・制作・情報発信」などの対応ができる知識・ 技能を身に付けている	12.5	45.0	35.0	2.5	5.0
地域が有する多様な魅力を発見することができる	20.0	45.0	25.0	7.5	2.5
地域が有する多様な魅力を、地域を活性化させる 情報や観光プランへと発展させるための力と態度を 身に付けている	10.0	50.0	30.0	7.5	2.5

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部  
マスコミュニケーション学科 4年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
講義・ゼミナール、さらにはフィールドワークなどの実践的な活動を通じて、「話す・聴く・読む・書く」こと、そして、「チームで取り組む」ことをくり返してトレーニングしている	40.5	40.5	10.8	5.4	2.7
講義・ゼミナール、さらにはフィールドワークなどの実践的な活動を通じて、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を身に付けている	37.8	43.2	13.5	5.4	0.0
テレビ・新聞などの在来メディアとインターネットなどの新しいメディアの双方に関する基礎知識を持っている	43.2	35.1	18.9	2.7	0.0
ビジネスの現場や地域社会において、基本的な対応ができる「取材・調査・企画・制作・情報発信」などのスキルを身に付けている	35.1	45.9	16.2	2.7	0.0
観光文化や観光ビジネスに関する基礎知識を持っている	37.8	40.5	16.2	5.4	0.0
地域の魅力を発見、さらには観光情報・プランへ発展させるための基本的なスキルを身に付けている	32.4	45.9	16.2	5.4	0.0

現代文化学部  
社会臨床心理学科 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
自分自身だけではなく、他者の心や行動を理解することができる	25.0	52.8	11.1	11.1	0.0
共生社会におけるコミュニケーション力とチームワーク力をもって、他者を支援・援助することができる能力を身に付けている	8.3	33.3	47.2	11.1	0.0
心理学に関する実験や調査をはじめとする科学的手法を用いて、人間の心の状態や行動を解明することができる	5.6	41.7	33.3	16.7	2.8
心理学に関する実験や調査をはじめとする科学的手法を用いて、データに基づいて報告書を作成する知識と技能を身に付けている	11.1	22.2	50.0	16.7	0.0
心理学の知識・技術をふまえ、地域社会の要請に応えることができる	5.6	25.0	44.4	19.4	5.6
心理学の知識・技術をふまえ、課題を解決する態度を身に付けている	11.1	47.2	36.1	5.6	0.0

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部  
社会臨床心理学科 3年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
自分自身だけではなく、他者の心や行動を理解することができる	16.7	50.0	30.0	3.3	0.0
共生社会におけるコミュニケーション力とチームワーク力をもって、他者を支援・援助することができる能力を身に付けている	10.0	50.0	20.0	20.0	0.0
心理学に関する実験や調査をはじめとする科学的手法を用いて、人間の心の状態や行動を解明することができる	3.3	30.0	53.3	13.3	0.0
心理学に関する実験や調査をはじめとする科学的手法を用いて、データに基づいて報告書を作成する知識と技能を身に付けている	3.3	30.0	36.7	26.7	3.3
心理学の知識・技術をふまえ、地域社会の要請に応えることができる	3.3	16.7	63.3	16.7	0.0
心理学の知識・技術をふまえ、課題を解決する態度を身に付けている	3.3	60.0	30.0	6.7	0.0

現代文化学部  
社会臨床心理学科 4年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
人間の心や行動に関して、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにできる	14.8	48.1	29.6	7.4	0.0
人間の心や行動に関して、報告書を作成できるスキルを修得している	22.2	44.4	25.9	7.4	0.0
自分自身だけではなく、他者の心や行動が理解できるスキルを修得している	18.5	66.7	11.1	3.7	0.0
他者とのコミュニケーションができる	51.9	44.4	3.7	0.0	0.0
共感を持って他者を支援・援助することができるスキルを修得している	37.0	59.3	3.7	0.0	0.0

現代文化学部  
子ども発達教育学科 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
子どもの健全な発達を支援するにふさわしい豊かなコミュニケーション力と創造力・表現力を身に付けている	21.6	56.9	15.7	5.9	0.0
子どもの発達を把握し、学習指導や各種の支援を行うために必要な専門的知識と技能を習得している	33.3	39.2	23.5	3.9	0.0
子どもの発達を把握し、子どもの表現力、思考力、判断力を育成できる実践力を身に付けている	33.3	29.4	25.5	11.8	0.0
学校、幼稚園、保育所をはじめ広く地域社会において子育てや教育など次世代の育成支援に積極的に寄与しようとする態度を身に付けている	29.4	54.9	11.8	3.9	0.0

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部  
子ども発達教育学科 3年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
子どもの健全な発達を支援するにふさわしい豊かなコミュニケーション力と創造力・表現力を身に付けている	22.2	59.3	14.8	3.7	0.0
子どもの発達を把握し、学習指導や各種の支援を行うために必要な専門的知識と技能を習得している	18.5	63.0	18.5	0.0	0.0
子どもの発達を把握し、子どもの表現力、思考力、判断力を育成できる実践力を身に付けている	22.2	51.9	25.9	0.0	0.0
学校、幼稚園、保育所をはじめ広く地域社会において子育てや教育など次世代の育成支援に積極的に寄与しようとする態度を身に付けている	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0

現代文化学部  
子ども発達教育学科 4年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
子どもの健全な発達を支援するにふさわしい豊かな教養を修得している	45.2	42.9	7.1	2.4	2.4
円滑な人間関係や適確な自己表現など社会人として必要な素養を深めている	45.2	40.5	11.9	0.0	2.4
子どもの発達を多面的、総合的に把握するための知識と技能を高めている	50.0	35.7	9.5	2.4	2.4
子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的力を高めている	33.3	47.6	14.3	2.4	2.4
地域社会や職場において子育てや次世代育成支援に寄与できる実践力を備えている	21.4	59.5	16.7	2.4	0.0

健康栄養学部  
管理栄養学科 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
健康・栄養問題を解決する上で求められるコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有している	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
栄養マネジメントに沿って栄養の指導を実践するために必要な能力を身に付けている	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
栄養学の専門的な知識・技能を修得している	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
ライフステージすべてにわたる健康・栄養問題の解決に広く活用できる知識・技能を身に付けている	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
食と健康分野で社会の福祉及び教育の発展などに貢献しようとする意欲を持っている	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
生涯にわたって学びを継続する意欲と態度を身に付けている	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

健康栄養学部  
管理栄養学科 3年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
健康・栄養問題を解決する上で求められるコミュニ ケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク 力を有している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
栄養マネジメントに沿って栄養の指導を実践するた めに必要な能力を身に付けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
栄養学の専門的な知識・技能を修得している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージすべてにわたる健康・栄養問題の解 決に広く活用できる知識・技能を身に付けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
食と健康分野で社会の福祉及び教育の発展などに 貢献しようとする意欲を持っている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生涯にわたって学びを継続する意欲と態度を身に 付けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

健康栄養学部  
管理栄養学科 4年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
栄養学の高度な知識・技能を修得している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ライフステージすべてにわたる健康・栄養問題の解 決に広く活用できる判断力・思考力を身に付けてい る	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
健康・栄養問題を解決する上で求められるコミュニ ケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク 力を有している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
栄養マネジメントに沿って栄養の指導を実践できる 能力を身に付けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備え ている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
食と健康分野で社会の福祉に貢献しようとする意 思を持っている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付 けている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

短期大学部  
幼児教育科 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
子どもの最善の利益を尊重することができる	67.1	30.6	2.4	0.0	0.0
保育に携わるうえで欠かせない多様な状況における思考力と判断力及び豊かなコミュニケーション力を身に付けている	38.8	49.4	10.6	1.2	0.0
子どもの心身の健康、発達、保育の本質や保育者の役割などに関する基礎的、基本的な知識と技能を身に付けている	42.4	48.2	9.4	0.0	0.0
保育者としての専門性を深めている	47.1	45.9	7.1	0.0	0.0
生活に即した保育を構想することを通して、自己実現の喜びを持つとともに社会に貢献しようとする力と態度を身に付けている	50.6	42.4	7.1	0.0	0.0

短期大学部  
総合生活デザイン学科 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
よりよい自己実現をめざすため、自己肯定感に支えられた高い傾聴、受信力を持っている	18.0	44.3	29.5	8.2	0.0
よりよい自己実現をめざすため、自らの人生をデザインしている	23.0	44.3	27.9	4.9	0.0
よりよい自己実現をめざすため、社会の一員として共に生きるための資質・能力を身に付けている	18.0	47.5	27.9	6.6	0.0
生活に関わる分野において社会に寄与できる人材として自立するための確かな専門的知識・技能及び実践力を身に付けている	16.4	57.4	19.7	6.6	0.0
職業人としての自覚を深めている	16.4	34.4	37.7	9.8	1.6
継続的に専門性を高めつつ地域社会や教育界における課題を分析し問題解決する力と態度を身に付けている	21.3	42.6	24.6	11.5	0.0

Q18. あなたご自身のことについてお伺いします。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

短期大学部  
美術科 2年

卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)	あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらともい えない (%)	あまりあては まらない (%)	あてはまら ない (%)
芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達を実現するための表現力・創造力を身に付けている	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7
芸術活動や制作活動を通して、社会において豊かな人間関係を築く力を身に付けている	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7
美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を身に付けている	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7
美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を用いた創造性豊かな表現ができる力を身に付けている	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7
芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持っている	33.3	33.3	16.7	0.0	16.7
集中力や持続力を保つ中で専門性を磨いている	16.7	50.0	16.7	0.0	16.7
表現者・職業人として地域社会や教育界に貢献できる力と態度を身に付けている	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7